

海上保安学校卒業式へ安倍内閣総理大臣が参加

平成28年3月19日、海上保安学校において、安倍内閣総理大臣及び石井国土交通大臣参列のもと、卒業式が行われました。海上保安学校卒業式への総理大臣の参加は開校以来初となります。

安倍内閣総理大臣は、卒業式の祝辞において「荒波も恐れず、極度の緊張感に耐え、現場での任務を立派に果たす彼ら（海上保安官）は、日本国民の誇りである。」と述べられ、また、「困難な道を、強い使命感を持って選び取った諸君に心から敬意を表したいと思う。」「海上保安庁の役割は、これからも変化し、その重要性を一層増していく、広い視野を持ち続け、柔軟な発想で、時代の変化に即応して全力を尽くしてほしい。」と卒業生を激励しました。

石井国土交通大臣も、「個々の海上保安官が連動して大きな力となり、海上保安庁の現場を支えている」「現場の厳しい環境の中で、さらに修練を積み重ね、一日も早く一人前の海上保安官として成長することを期待」と卒業生を激励しました。

卒業生243名（うち女性22名）は、海上保安官に任命され、全国の巡視船艇、航空基地、管区本部等に赴任しました。



<首相官邸ホームページ> 海上保安学校卒業式 内閣総理大臣祝辞



平成27年度 海上保安学校卒業式
安倍内閣総理大臣 ご臨席関連